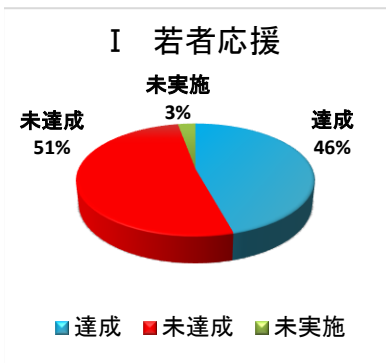


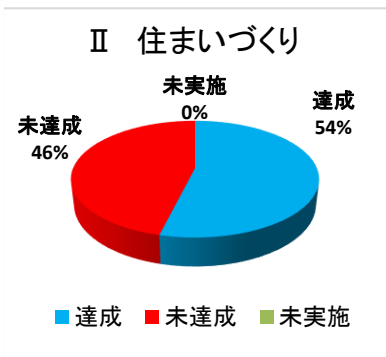
第1次北杜市総合戦略の取組結果

1. 第1次北杜市総合戦略に係る事業の令和元年度(最終年度)の達成状況(注1)

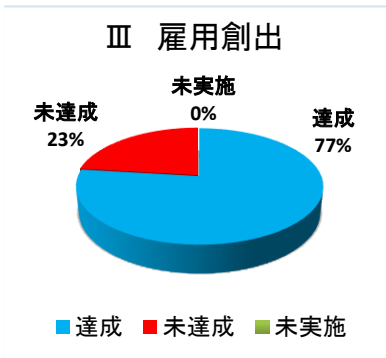
○重点プロジェクトごとの達成率



【子育て世代が魅力を感じる地域を創生する】
 令和元年度のKPIIについては、35の地方創生事業中、達成16事業、未達成18事業、未実施1事業であった。
 出生率は増加傾向、出生数は横ばい・微増傾向で推移したが、目標とする合計特殊出生率及び出生数には及ばなかった。
 子育て支援事業(子ども医療費助成の拡大、保育料第2子以降無料化制度の維持等)に積極的に取り組み、子育て世代のニーズに応えた。
 子育て世代包括支援センターの設置により、相談窓口のワンストップサービス環境の整備や切れ目のない支援を行った。
 また、原っぱ教育を推進し、小中学校へのICT機器導入や地産地消の関心を高める事業を実施した。



【ニーズに合った住まいを創生する】
 令和元年度のKPIIについては、13の地方創生事業中、達成7事業、未達成6事業であった。
 ハヶ岳定住自立圏共生ビジョンに係る事業の推進、子育て支援住宅及び就業促進住宅の整備、空き家バンク制度の活用により、定住促進につなげることができた。
 移住定住相談窓口を長坂総合支所へ移転し、相談スペースの拡充や電車でも気軽に訪問できる体制を整え、利便性の向上を図るとともに首都圏での移住定住セミナーや相談会を開催し、移住希望者向けに情報発信を行った。
 転入者数、転出者数は、平成29年度は227人の増であったが、令和元年度は23人の増にとどまり、目標には及ばなかった。



【地域に根差した雇用を創生する】
 令和元年度のKPIIについては、13の地方創生事業中、達成10事業、未達成3事業であった。
 市雇用創造協議会やはくとハッピーワークとの連携により、市内企業の人材不足の解消と雇用の創出を図った。また、市フードバレー協議会を設立し、地産地消事業を推進した。
 企業への補助・支援により市内の中小企業者や創業者に対する新たな事業展開や販路拡大に係る事業を支援するとともに、担い手農業者への支援など求職者支援や人材育成の取組を行った。
 女性の就業を促進するため、就活女子会を開催し、市内企業の人材不足の解消と求職者の就業促進を図った。

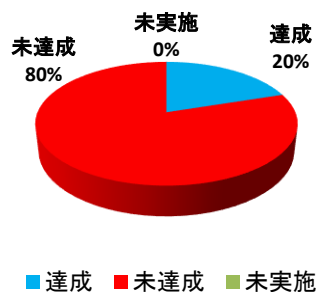
○重点プロジェクトごとの実績及び数値目標

指標(大目標)	実績(R1)	目標(R1)	達成/未達成
合計特殊出生率(注2)	1.35	1.50	未達成
出生数(注2)	213人	267人	未達成
子育て支援住宅入居者の満足度	68%	90%	未達成

指標(大目標)	実績(R1)	目標(R1)	達成/未達成
転入者数・転出者数	23人増	410人増	未達成
空き家バンク成約数	19件	20件	未達成
子育て支援住宅入居者の退去後定住率	100%	100%	達成

指標(大目標)	実績(R1)	目標(R1)	達成/未達成
市内事業所数(注3)	2,550事業所	2,550事業所	達成
合併時からの企業誘致累計数	33社	31社	達成
新規就農者数	34人	25人	達成

Ⅳ 交流・観光

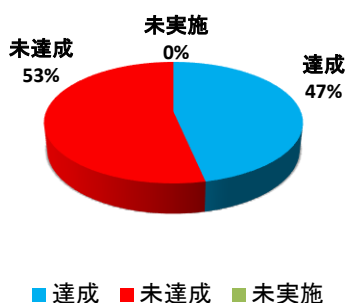


【人の流れをつくり地域経済を創生する】

令和元年度のKPIについては、20の地方創生事業中、達成4事業、未達成16事業となった。
 令和元年度は、天候不順と台風接近による中央自動車道やJR中央線への被害の影響を受け、観光客数が減少した。
 観光客の誘客やインバウンド対策として、八ヶ岳観光圏事業との連携や観光地・道の駅の環境整備、多言語パンフレットの作成等により、交流人口を増やす取組を行った。
 移住お試しツアーの開催や移住定住お試し住宅の利用体験を提供し、市外からの移住につながった。
 東京オリンピックの事前合宿地として、フランスのビーチバレー競技とBMX競技を誘致するとともに、基金事業の活用により市民に芸術鑑賞・スポーツ振興の機会を提供した。

指標(大目標)	実績(R1)	目標(R1)	達成/未達成
観光入込客数(注2)	367万人	451万人	未達成
宿泊者数(注2)	85万人	103万人	未達成
農産物直売所来場者数	95万人	93万人	達成
婚姻数	160件	170件	未達成

Ⅴ 生活環境づくり

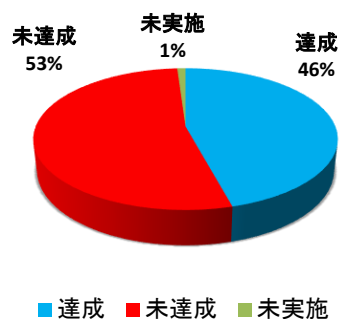


【将来にわたり活力あふれる生活環境を創造する】

令和元年度のKPIについては、15の地方創生事業中、達成7事業、未達成8事業であった。
 公共交通の利用者数は、増加傾向であったが、目標には及ばなかった。
 防災備蓄品の整備による防災体制の強化、特定空き家対策、通学路の安全対策や生活道路の整備のほか、地域公共交通(市民バス)において、地域住民のニーズに応じた市民バスの運行体系の再構築を行い、暮らしやすいまちづくりのための事業を行った。
 再生可能エネルギー設備設置費補助金の補助対象機器の拡充を図り、交通の利便性向上や環境にやさしいまちづくりに取り組んだ。
 介護予防講演会や一流選手を招いたスポーツ教室の開催など生涯学習の推進のための事業を行った。

指標(大目標)	実績(R1)	目標(R1)	達成/未達成
公共交通の利用者数	281万人	289万人	未達成
北杜市に住み続けたい人の割合	83%	80%	達成

総合戦略 全体



【総合戦略が目指す姿】

～住み続けたいまち、住んでみたいまちの実現と豊かで暮らしやすいまちづくり～
 全体では、96の地方創生事業中、達成44事業、未達成51事業、未実施1事業となり、達成割合は46%となった。
 人口の推移については、令和2年度当初は、平成27年度当初と比較して、社会増減は増加となったものの自然増減の減少が大きく、1,876人の減少となっている。
 また、令和元年度中の移住者は、平成30年度と同じく30代が最も多く、40代以下の移住世代の割合は60%であった。
 総合戦略の取組も第1次が終了した段階であり、検証を踏まえつつ第2次総合戦略において取組を継続していく。

国勢調査		北杜市人口ビジョン(短期的目標:R2)		人口推移の見通し
平成22年度	46,968人	国立社会保障・人口問題研究所推計	42,835人	5か年の住民基本台帳の人口推移は、1,876人の減少となっている。自然増減は少子高齢化の影響から2,298人の減、一方で社会増減は転入が転出を上回り、422人の増となっており、移住・定住を含む転入の増加が人口減少に一定の歯止めをかけている。令和2年度に実施される国勢調査では、平成27年度調査からの減少が想定され、結果について注視する必要がある。
平成27年度	45,111人	北杜市独自推計	45,000人	
住民基本台帳(注4) : 1,876人減(H27～R1)				
H27.4.1	48,297人	R2.4.1	46,421人	
自然増減: 2,298人減		社会増減: 422人増		
出生(H27～R1)	1,040人	転入(H27～R1)	8,561人	
死亡(H27～R1)	3,338人	転出(H27～R1)	8,139人	

注1: 計画期間の最終年度である令和元年度のKPIを勘案し、達成・未達成を整理した。
 注2: 合計特殊出生率、出生数、観光入込客数及び宿泊者数については、令和元年度の数値を記載した。
 注3: 事業所数については、平成28年経済センサス活動調査(確報)における市内事業所数の数値を記載した。
 注4: 人口は、各年度の4月1日現在の数値。自然増減及び社会増減については、住民基本台帳をもとに、各年度の異動数について算出した。